

(仮訳)

## プレス・リリース

2026年3月9日

中央銀行総裁・銀行監督当局長官グループは、バーゼルⅢの実施の進展を歓迎し、バーゼル銀行監督委員会の作業計画の要素について議論

- 中央銀行総裁・銀行監督当局長官グループ（以下「GHOS」）は、バーゼルⅢの完全実施に向けた進展を歓迎する。
- GHOS は、バーゼル銀行監督委員会（以下「バーゼル委」）による暗号資産の健全性基準及びグローバルなシステム上重要な銀行に関する的を絞ったレビューを承認した。

バーゼル委の上位機関である GHOS は、2026年3月9日に会合を開催した。

### バーゼルⅢの実施

GHOS は、実施が完了していないバーゼルⅢ改革の実施状況を確認した。メンバー法域は、実施に向けて良い進展を続けている。現在、約 75%のメンバー法域が基準を実施済みであるか、まもなく実施する予定であり、残りの法域も実施に向けた計画を示している。

GHOS メンバーは、実施の進展を歓迎するとともに、バーゼルⅢ枠組みを全てのメンバー法域が可能な限り早期に、完全かつ統合的な形で実施することへの期待を再確認した。ここ数年の金融市場への一連のショックや最近の市場動向は、健全な国際的規制枠組みを整備し、規制上の公平な競争条件を確保することの重要性を強調している。GHOS は、バーゼル委に対して、バーゼルⅢの完全かつ統合的な形での実施を引き続きモニタリングし、評価するよう指示した。

### 的を絞ったレビュー

GHOS は、バーゼル委による2つの的を絞ったレビューを承認した。1つ目は、最近の暗号資産市場の動向を踏まえた、銀行の暗号資産エクスポージャーに係るバーゼル委の健全性基準の特定の要素に関するレビューである。2つ目は、グ

グローバルなシステム上重要な銀行（G-SIBs）の評価手法のガバナンス及び透明性に関する、G-SIB 枠組みの継続的なモニタリング及びレビューの[プロセス](#)に沿った形での的を絞ったレビューである。今年中にアップデートが提示される予定である。